

災害対策や三重県への想いを 県議会議長・議員に聞く!!



11月29日（火）、県議会を傍聴し、その後、県県和く和くミーティングと題して、県議会の山本教和議長、中村進一副議長、永田正巳議員、杉本熊野議員、中西勇議員との懇談会を行いました。



当日傍聴した一般質問で、「紀伊半島大水害からの復旧・復興について」の発言があった

ことに対して、三重県の災害対策、避難場所、通学途中での避難経路等の子供や親への周知についてレディース中央会から質問すると、県が各地で耐震工事を行っていることや津市では、校舎の二・三階へ避難すれば大丈夫としているが、きめ細かな対策が必要であると感じていること、また、各市町の災害時の取組状況について先日の新聞にも掲載されてい



たこと等が述べられました。その後、今後、三重県をどのようにしていきたいかを伺ったところ、“住みやすい町づくり、絆のある、人と人の繋がりのある地域づくり”など議員の方々の三重県に対する想いを伺うことができ、有意義なひとときとなりました。